



こんどう千秋Profile

【略 歴】

昭和 41年 11月 武豊町に生まれる
西保育園、衣浦小学校、
武豊中学校、
武豊高校を卒業
平成 2年 3月 岐阜経済大学経済学部
経済学科卒業
4月 武豊町役場入庁
平成 27年 4月 防災交通課長
平成 29年 4月 次長兼都市計画課長
平成 31年 4月 次長兼企画政策課長
令和 3年 5月 副町長
令和 6年 12月 副町長退職

【主な地域活動】

武豊町消防団第一南分団部長
武豊小学校PTA会長
武豊中学校校外補導委員長
武豊高校同窓会役員
玉貫山車保存会事務局 等

【趣 味】

ビーチボールバレー
スポーツ観戦 等



こんどう千秋の思い

私は、「笑顔で住み続けられるまち たけとよ」を実現するために、
全力で挑戦してまいります。
「住んでいてよかった、これからも住み続けたい」
この想いを町民の皆さんと共有し、「たけとよプライド」を持てる町を築い
ていきます。私たちの大切なふるさとを、孫の代まで誇れる
「たけとよ」として引き継いでいくことが私の使命です。

家計の負担緩和！
地域における消費下支え！

物価高騰の今を支える！
生活応援券10,000円

今、食料品や生活必需品などの価格が高騰し、町
民の家計に大きな負担がかかっています。特に、おコメ
は昨年のほぼ2倍の価格となっています。

このため、物価高騰の影響を緩和し、地域経済を活
性化させるために、すべての町民を対象に1人1万円の
「生活応援券」を配布します。

近藤千秋



#たけとよプライド
#町民が主役のまちづくり

こんどう
千秋 ちあき

笑顔で住み続けられるまち
たけとよ



詳しくは
公式サイトを
ご覧ください

こんどう千秋

<https://www.chiaki-kondo.com>

こんどう千秋 後援会事務所

事務所 : 武豊町字迎戸9番地7
TEL : 090-6748-5263
FAX : 0569-72-6475
E-mail : chiaki_kondo@tac-net.ne.jp

1 育ちを応援する



課題 武豊町の0・1・2歳児保育は、年度途中の受け入れが困難な状況にあります。また、児童クラブは定員数を上回る申し込みがあり、待機の状況にあります。

民間を活用し、0歳児からの保育や児童クラブを拡充します

●民間の小規模保育園を誘致します ●児童クラブを増設します ●放課後子ども教室などの放課後の居場所づくり事業を進めます

課題 現在は、小学校就学前の兄弟のうち2人目に係る保育料が半額、3人目以降に係る保育料は無償となっています。

保育料の無償化を進めます

●所得制限なく、第2子の保育料無償化からスタートします

課題 国の給食無償化は、まずは小学校を念頭に、地方の実情等を踏まえ2026年度に実現するとしています。

小中学校の給食費を無償化します

●国による小学校の給食費無償化スタートに合わせ、武豊町で中学校の給食費無償化も同時に実施します ●無償化しても給食の質や量の充実に努めます

課題 遠距離通学をする児童の多くは、保護者が送迎しているとの声を聞きます。

遠距離通学児童へのスクールバスを導入します

●熱中症対策等、一定の通学距離を超える地域へワゴンバス等を導入します

課題 現在、学習スペースがある公共施設は図書館のみです。

公共施設に学習スペースを確保します

●気軽に利用できる学習スペースを公共施設の中に設置します



2 暮らしを支える



課題 武豊町のコミュニティバスは2台、運行時間は8:15～17:45で、通学通勤に利用しにくい時間帯となっています。また、高齢者の免許自主返納者も増えています。

コミュニティバスの利便性向上を図ります

●運行時間を通学通勤にも利用できる時間帯に延長します ●台数を増やし、運行エリアが拡大するようルートを見直します

課題 現在、介護老人保健施設、ケアハウス等、3か所の施設に移動販売車が定期的に巡回しています。

移動販売車の販売地域を増やします

●交通不便地域や高齢化が進んでいる地域等へ移動販売車が巡回します

課題 能登半島地震では、避難所のトイレ不足や迅速に情報が伝達されなかったことが課題とされました。

防災対策の強化を図ります

●避難所となる小中学校へ、マンホールトイレ等の整備を促進します ●ドローン等の新技術を積極的に活用し、災害対策の幅を広げます

課題 防犯カメラを設置することで、住居侵入・空き巣は約20%、盗難・車上狙いは50%抑止できると言われています。

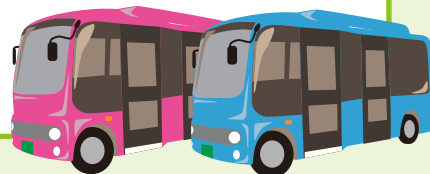
防犯カメラの設置に補助金を交付します

●家庭や事業所などが設置する防犯カメラに補助金を交付します

課題 やすらぎの森墓園の新規申込は、2013年に37件あったものが、2023年は4件と激減しています。少子化・核家族化によりお墓の維持が難しくなっている状況にあります。

樹木葬等の合葬式墓を整備します

●少子化・核家族化等による時代の変化に対応した樹木葬等の墓園を整備します



3 成長し続ける

課題 武豊町には多くの企業がありますが、事業拡大や新規企業の参入を検討する場合、町内にまとまった産業用地が無いのが現状です。

新たな工業団地の整備を促進します

●雇用拡大、税收増加につなげるため、候補地を選定し早期整備に努めます

課題 民間の調査では、奨学金を受給している学生の割合は、全国平均55%となっています。また、人手不足と感じている企業の割合は52%となっています。

奨学金返還補助金を創設します

●町内企業に就職し定住する若年層へ、奨学金返還の一部を補助します

課題 大規模災害時に自治体からの要請によりキッチンカーを派遣し、食事の炊き出しを行ったり、弁当や食材を提供したりする協定を結ぶ自治体が増えています。

新たに武豊町で創業する中小企業者等への補助金を拡充します

●防災協定を町と結ぶキッチンカーの創業者に対し補助金を交付します

課題 富貴駅周辺は、ロータリーがなく、踏切内の歩道が整備されていないため、不便な状況が長年続いています。

愛知県・名鉄と連携した富貴駅周辺の整備を促進します

●ロータリーや踏切内歩道などの早期整備に向け県へ強く要望をします



4 未来へつなぐ

課題 知多武豊駅周辺は、「にぎわい創出エリア」として、町内外からの多くの人が集い、交流が生まれるシンボリックなにぎわいあふれるエリアとして位置づけがされています。

知多武豊駅周辺のにぎわいを創出します

●町民を主役とした知多武豊駅周辺の未来像を描き示します

課題 武豊町内の公園は、火気の使用は禁止となっています。気軽にバーベキュー等を楽しめる場所が無いとの声をいただきます。また、中央公園での様々なイベントを望む声があります。

町民が楽しめる場所を創出します

●地元食材を活かしたバーベキュー等を楽しめる場所を整備します ●中央公園を活用したイベント等を開催します

課題 時代の変化に合わせ、民間の発想や専門性を取り入れ新しいサービスや政策を展開することが必要です。

新たなまちの可能性に向けたチャレンジをします

●民間人材、外部人材を採用し、武豊町の改革を推進します

課題 武豊町では、オンライン化を進めているものの、紙や対面などでしかできない行政手続が多くあります。

未来に向けてデジタル化を推進します

●各種手続きのオンライン化を進め、書かない窓口を目指します ●シニア層へのデジタル活用への支援体制を強化します

課題 スポーツによっては、年齢や体力、障がいハンデになることがあります。eスポーツは子どもから高齢者まで、みんな一緒に楽しむことができます。

eスポーツの振興および大会を誘致します

●eスポーツを通じ、子どもから高齢者等多くの人が交流できる機会を創出します

